

## 二島とよじ、令和6年、念頭に決意!

地域に根ざした議員として  
皆様の声を区政に活かします!



### 5期目がスタート! 絆と経験、実績を活かす!

令和6年の年頭にあたり、日頃より私の活動に対しご理解とご協力をいただいておりますことに、改めて心より感謝申し上げます。昨年4月の港区議会議員選挙におきまして、2,135票をお預かりし5期目の当選をさせていただくことができました。4期16年間で培ってきました皆様との絆とそこで得た経験と実績を活かし、地域に根ざした区議会議員として引き続き活動して参ります。

### 区議会議員・監査委員、 双方の立ち場から区政をチェック!

5月1日から5期目の任期がスタートし、その後開催された区議会臨時会におきまして、区議会議員選出の監査委員に選任されました。この役職は、今までとは異なる角度

から港区行政を俯瞰的に見ることができることから、区議会議員と監査委員それぞれの視点を合わせて区政のチェックを行います。

新型コロナが5類に移行され、各種の行事もほぼコロナ以前の状況に戻りました。皆さんと顔を合わせ、気兼ねなく話のできる環境を取り戻しましたので、コロナ禍を経た後の新たな課題への対応を迅速かつ、実態に即した形で区政に反映させて参ります。

本年も皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

港区議会議員 **二島豊司**



伝統文化交流館にて、  
キスポーツ財団の監査を実施



丸川珠代参議院議員と  
子育て支援政策について意見交換



各地のもちつき大会も大盛況!  
(写真は芝浦一丁目町会)





# 区立中学の修学旅行 行き先が シンガポールに！



## 様々な意見を真摯に受けとめ、 建設的に議論を進める

昨夏、区立中学校で実施している修学旅行の行き先をこれまでの京都・奈良等から海外(シンガポール)にするという発表がありました。港区の説明では「これまで実施してきた国際人育成に向けた取組の集大成という位置づけ」とのことでしたが、検討の経緯などが必ずしも明確でなく、テレビやインターネット上でも話題となり、多くのお問い合わせやご意見を頂戴しました。

「なぜ海外、またシンガポールなのか」「日本の文化に触れる機会を失うことにならないか」「家庭の負担がふえるのでは」そしてなにより「総額5億円を超える経費が過大ではないか」といった意見や心配の声が寄せられました。また一方では「現地で直に感じる体験は重要」「港区ならではの施策」といった意見も多くうかがいました。

## 皆様の意見やアイデアを 伝えるため、特別委員会を設置

第3回定例会に事業経費の補正予算案が提案され、委員会での審議を経て明らかとなったこともありましたが、なお未確定の事からも残されました。その中には費用面やプログラムなど、事業者から提案を受ける中で具体的に確定することもあることから、定例会終了後も継続的に

報告を受け、皆様からお寄せいただく意見を伝えられるよう、異例ではありましたが、議会として特別委員会を設けることとなりました。今後プロポーザルの公募手続きを経て事業者が選定され、より具体的な計画が示されることとなります。

区立中学校に通う生徒の中には海外渡航経験のある生徒もありますが、もちろんそのような経験のない生徒もいます。安全に実施されることは当然のこととして、中学3年生というタイミングでシンガポールの地に赴くことで得られた体験が、生徒たちそれぞれの視野を広げ、将来の糧となる、実りある修学旅行が実施されることを目指し取り組んで参ります。

ご意見などありましたらぜひお寄せください。



## 二島豊司 (にしま・とよじ) プロフィール

- 昭和47年(1972年)、栃木県足尾町(現・日光市)生まれ
- 栃木県立宇都宮高校卒～早稲田大学法学部卒
- 株式会社日本リース勤務～衆議院議員・梶山弘志秘書
- 平成19年4月、港区議会議員に初当選(現在5期)
- 令和元年5月、第46代港区議会議長就任(～令和3年6月)

●ボーイスカウト港17団(港区白金)リーダー、ガールスカウト東京94団(港区白金)をサポートするリーダー、障がい者スイミングクラブボランティア等も行う●家族は妻と2男(15歳、8歳)

◆自民党議員団幹事長、港区議会総務常任委員長、建設常任委員長、自民党東京都連青年部幹事長等を歴任◆元・明治学院大学非常勤講師(都政研究)◆NPO法人 先端政策研究機構主任研究員

